

4月

阿尾公民館だより

氷見市阿尾公民館
氷見市阿尾1015
TEL・FAX 74-3504

ひな祭・誕生会



3月3日、阿尾保育園でひな祭・誕生会がありました。
3月生まれの2人のお祝いをした後、ひな祭りの歌を歌ったりゲームをしたりしました。ゲームは、「用意ドン」で走り、拾ったカードに描いてある絵を見て、それに合う服装や持ち物を持って金屏風の前に座るというものでした。どの子供も楽しそうでした。



卒業証書授与式

3月17日、海峰小学校で卒業式が行われ、11名が巣立ちました。3年ぶりに来賓を招き、例年と近い形での実施となりました。保護者や来賓は、子供たちの成長ぶりに目を細めていました。



卒園を祝う会



3月23日、阿尾保育園で卒園を祝う会が行われました。卒園児4名は、園長先生から卒園証書をもらい、小学校でのめあてや保護者への感謝の気持ち述べていました。保護者は、我が子の成長ぶりに感慨深い様子でした。

* 公民館主事の独り言

※「自分を休ませる練習」 矢作直樹(東京大学名誉教授)著より引用

「残心」とは、武道における心構えです。一つの動作が終わってもなお緊張を解かないこと。

剣道では、打ち込んだあとの相手の反撃に備える心の構え、弓道では矢を射たあとその到達点を見極める心の構えをいいます。

日常生活でも、残心を生かしたいものである。

ドアや襖は静かに最後まで静かに閉める。湯飲みやコップ、食器は静かに置く。無用な音は立てないようにする。これらは所作としても美しく見えます。



食事を済ませた途端、バタバタと立ち上がらない。余韻を大事にしたいものです。お茶を飲み、落ち着いてから片付けましょう。

常に緊張する必要はないのですが、自分に注意を払う。ここが大事です。

加齢で少しずつ難しくなりますが、なるべく気持ちが途切れないよう、その動作を意識してください。加齢によるからだの変化を知ることでもできるでしょう。

すべては「今の自分」を意識することからです。

「美しい所作」は、心とからだにいいのです。

○ 4月の講座案内

※「フラダンス」の講座は、4月から第1・3月曜日に変更になりました。

講座名	曜日	開設日	講師・責任者	時間	部屋
生け花 (池坊)	第1・3水曜日	4日 18日	西山栄津子	10:00~ 14:00	洋室
かな書道	第1・3月曜日	3日 17日	猶明 光華	13:00~	洋室
茶 道	第1・3土曜日	1日 15日	栗山 静子	8:00~	和室
学童茶道& 百人一首	原則毎週木曜日	6日 13日 20日 27日	栗山 静子	15:00~	和室
手 芸	第3火曜日	18日	伏木あい子	13:30~	和室
潮華会(新舞踊)	毎週土曜日	1日 8日 15日 22日 29日	大野 朝子	19:00~	和室
潮月会(新舞踊)	毎週金曜日	7日 14日 21日 28日	大野 朝子	13:00~	和室
囲碁サロン	毎週月・水曜日	3日 5日 10日 12日 17日 19日 24日 26日		13:30~	和室
フラダンス	第1・3月曜日	4日 18日	東軒みさ子	19:00~	和室
常磐会書道教室	第2・4土曜日	8日 22日	名苗くみ子	10:00~	洋室

○阿尾公民館からのお知らせ

・4月の「ふれあいランチ」は、ありません。

・(株)藤子スタジオから藤子不二雄A先生の図書約3,400冊が市に寄贈されました。その内の72冊が阿尾公民館に配布されました。この機会に郷土が生んだ漫画家の作品に親しんでみませんか。



○おらっちゃん風土記

皆さんは、どれくらい郷土(おらっちゃん)のことを知っていますか。私自身知らないことが多いことに気づき、調べてみたいと思いました。自分の住んでいる地域を知ることは、郷土を愛する心情を育てることにつながると願い、このコーナーを新設しました。

「氷見」という地名の由来

- 1 古代、越後の蝦夷防備の狼煙を監視する場所で、狼煙の火を見るところだから火見と言った。
- 2 海の漁り火が見えるところだから火見と言った。
※「火見」の「火」は、火事を思い浮かべるので、字面を嫌って「氷」に変えた。
- 3 海をへだてて、立山連峰の万年雪(氷は雪のこと)が光って見えるところだから氷見と言った。
- 4 海が干し上がって、陸地になったところだから干海(ひみ)と呼んだ。等

諸説ありますが、あなたはどの説を支持しますか。

※地名苗字読み解き事典 丹羽基二 柏書房 参照

※氷見市のホームページ 参照



海越しの立山連峰